

○ ハンゲ (半夏)

語源

半夏の名は夏の半ばに花が咲く(そのころに採取する)ことに由来し、和名のカラスビシャクは、仏炎苞(花卉のように見える部分で、実際は葉が変化したもの)を柄杓(ひしゃく)に見立てたもの。畑地の雑草として生え、農家の主婦の小遣いかせぎになることからヘソクリという俗名もある。

基原

Pinellia ternata カラスビシャク
サトイモ科 多年生草本

薬用部分

塊茎

産地

中国(甘肅、四川、湖北、河南、安徽、江蘇、浙江など)

主な成分

フェノール類： ホモゲンチジン酸、
3,4-ジヒドロキシベンズ
アルデヒドジグルコシド
多糖類： アラビノガラクトナン
アルカロイド： エフェドリン

主な薬効

鎮静、鎮吐、鎮咳、去痰

代表的処方

漢方処方用薬である。健胃消化薬、鎮吐薬、鎮咳去痰薬とみなされる処方及びその他の処方に比較的高頻度で配合されている。

【小青龍湯】

ショウセイリュウトウ
気管支炎、気管支喘息、鼻水、薄い水様の胆を伴う咳、鼻炎に用いる。
(処方内容) 麻黄/桂枝/芍薬/細辛/乾姜/
五味子/甘草/半夏

【六君子湯】

リックンシトウ
胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症に用いる： 胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐
(処方内容) 人参/朮/茯苓/半夏/陳皮/大棗/甘草/生姜

【半夏瀉心湯】

ハンゲシャシントウ
胃部がつかえて硬く、吐き気、舌が湿潤で白苔を有し、食欲不振でげっぷが多く、腹鳴があり軟便または下痢の傾向のあるものの次の諸症に用いる： 急・慢性胃腸カタル、発酵性下痢、胃酸過多症、胃下垂症、消化不良、神経性胃炎、胃弱、二日酔、胸やけ、口内炎、神経症
(処方内容) 半夏/人参/オウゴン/甘草/乾姜/大棗/黄連

文献報告

【鎮咳】

Pinellia ternata, *Citrus reticulata*, and their combinational prescription inhibit eosinophil infiltration and airway hyper-responsiveness by suppressing CCR3+ and Th2 cytokines production in the ovalbumin-induced asthma model

Mediators. Inflamm, 2009, 413270

【抗肥満】

Anti-obesity effect of *Pinellia ternata* extract in Zucker rats

Biol. Pharm. Bull, 2006, 29, 1278-81

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp